

東京教区時報

第1201号
2011年3月27日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

月島聖ルカ保育園を補助金で建替えるために、その手続きに合わせて急いで教会の設計をまとめねばならない！この圧力に月島聖公会の人達が困っておられるのを見て、礼拝堂と牧師館の建築設計を奉仕することになりました。2009年秋のことでした。月島の礼拝堂は、保育園と共に教区の新たな宣教の拠点とする使命を帯びています。このメッセージをいかに表現するかが大きなテーマでした。スケッチを描き模型を作りデザインに熱中しました。その年の十二月に設計の骨格は固まったものの、教会の自己資金が全く足りない問題は未解決でした。そんな中突然クリスマス前に、匿名の方が大口の献金をされるといふ朗報が伝えられたとき、共に喜び感謝しながら

《み手のなかで》

二つの帽子

三宅章

ら、この計画が主に支えられていることを確信しました。いつの間にか我が教会のように月島を応援してきましたが、実は自分自身も月島の人たちから支えられていることに気がつきました。奉仕をして喜ばれるたびに、奉仕を続ける勇気をもらってきたからです。工夫をこらした案を皆さんにお見せして、大きな笑顔で喜ばれたのは実に嬉しいことでした。会社の仕事とボランティアという二つの帽子をかぶり分けた一年半は張合いがあり、このような機会を頂いたことを感謝しています。礼拝堂は三階建ての三階に完成しました。目の前の広い運河と超高層ビルの眺めも良く、屋上テラスの活用も楽しみです。ぜひ一度礼拝にお出かけ下さい。

(小金井聖公会信徒)

(2面常置委員会報告続き)
香蘭女学校と協議、教役者会歓迎迎会を中止、大韓聖公会女性司祭按手10年の記念式(4月10〜12日)へ主教参加。
*主教巡回・各教会の主日礼拝司式者調整済。教役者引越、財務諸表など、主教チャプレン、各主事等の報告を了承。
*聖教主教会牧師館取得を了承。
*教区主教選挙特別委員会の活動報告を受理。
*「近隣教区との協働」の件について提案者の出席を得て協議。
*正義と平和協議会運営委員・信仰と生活委員会委員、教区審判廷審判員候補者を各確認。
*信徒奉事者認可および分餐許可適当と答申。
*その他

▽聖公会神学院入学式 4月5日(土) 14時、同院諸聖徒礼拝堂で執り行われ、東京教区から聖職候補生志願者が1名入学する。
▽ナザレ修女会黙想会(4月7日)は交通事情により中止。
[常置委員会より緊急連絡]
○東京教区として当面の対策室は、常置委員会(長・笹森田鶴司祭)が当たる。
○現在、東北教区と管区が緊急支援その他の対応を協議中。その結果は可及的速やかに各教会・礼拝堂あて連絡する。
○東北教区からの救援物資その他の要請が近日

今週・来週の予定

3月27日～4月9日

- | | |
|----------|-----------------------------------|
| 27 (日) | 大斎節第3主日
下町・城南・山手・多摩各教会 G 教会協議会 |
| 28 (月) | ハラメント防止委：臨時 |
| 29 (火) | 礼拝音楽委 |
| 31 (水) | ハラメント防止委 |
| 4月 1 (金) | リトリート |
| 2 (土) | 広報委主式 |
| 3 (日) | 聖職按第4主日 |
| 4 (月) | 大斎節特別委 |
| 7 (木) | 分財金サマ |
| 8 (金) | 教財務サマ協働 |

中に届く予定。これについても判明次第連絡する。
○この度の死者・被災者・避難生活を強いられている方々に心からの熱いお祈りを。
*訂正 3月20日号4面十字架の道行き、聖十字教会は4月16日(土)。
*教区HP 東北地方太平洋沖地震関連を掲載(広報委員会)。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

第115(定期) 教区会報告

3月21日定期教区会が開催された。交通事情を鑑み予定の9時開会を10時に繰り下げ、大畑主教司式による聖餐式をもって始められた。教役者議員・信徒代議員116名中109名の参加で教区会は成立した。

各報告はいくつかの質疑応答を経てすべて承認された。質問は聖職養成に関する項目で多く出され、また分担金制度の改定に関する報告でも質問があった。

今教区会の議案は10件、昨年来の三つの教会における礼拝堂、会館、牧師館等の新築、改築に伴う基本財産の移動に関する議案が7件、教区審判廷審判員の選任、教区会計決算、東北地方太平洋沖地震への支援復興

募金に関する議案、がそれぞれ1件であった。

報告と平行して行われた常置委員選挙では、聖職委員として笹森田鶴司祭・下条裕章司祭・佐々木道人司祭が、信徒委員として松田正人さん・黒澤圭子さん・松平謙次さんが選出された。

常置委員会から教区会前に急遽提案された「東北地方太平洋沖地震被災地への支援復興募金に3億円を奉献する件」について様々な意見が出され、修正案、動議等が検討されたが、最終的には大畑主教から強い要請が行われ、原案通りに決議された。定刻を20分過ぎ、17時20分に主の祈り・頌栄で閉会した。

「教区会後に開催した常置委員会で、委員長に笹森田鶴司祭を

互選した。」

◇執事按手式

公示の通り、倉澤一太郎聖職候補生が公会の執事職に叙任される。4月2日(土) 14時、聖アンデレ主教座聖堂で、説教者は小笠原忍司祭。前日のリトリート指導者は竹内謙太郎司祭。

常置委員会報告(3月16日)

* 東北関東大震災の影響により、21日の教区会を10時開始、各自昼食持参等の策で開催。阪神・淡路大震災を参考に財政委員長より募金実施の意見を受け、実施の議案を教区会に提出。

* 主教報告⇒成成鍾司祭・朴美賢司祭の宣教師受入れ3年延長を釜山教区主教と合意、監事2名の推薦を了承、三光教会副牧師の牧師館居住につき同教会・(4面)

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

【クローズアップ】78

東北地方太平洋沖地震を

覚えての聖餐式

東北太平洋沖地震の津波によって多くの人命が失われ、原子力発電所が爆発して放射能が漏えいし、被曝を怖れて首都圏からの退去を考慮する人もいるというこの未曾有の国家的危機の最中において、被災された方々、不安の只中にある方々の上に主の豊かな慰めと癒しのみ手が差し伸べられますように祈ります。また世を去った方々の魂の平安をお祈りし、哀悼の意を表します。

この度東京教区教役者会幹事会は、わたしたちが祈りの共同体であることを確認しつつ、被災された東北教区、北関東教区を覚えて聖餐式を捧げて応援しようと計画

し、3月20日(日) 18時から1回目の聖餐式を行いました。日曜日の夜にもかかわらず、50人を超える方々が聖アンデレ教会に集まりました。大畑主教は力のある司式と説教を通して今「とりあえず」わたしたちができることは祈りであると諭されました。

代祷を通して、心を合わせて切実に祈りました。一瞬のうちに全てを失い、苦しみの中で必死に闘っている被災地の方々に、過酷な苦難を乗り越えて生きる力が与えられますように祈りました。この災害によって苦しんでいる多くの方々が、勇気をもって再び力強く立ち上がり、主の愛を実践することができるよう、主の導きが与えられるように祈りました。またわたしたちがこの大惨事に遭って

苦しむ方々に寄り添い、どんな小さなことでも率先して行うことができるように祈りました。

そして主の御体と御血にあずかり、主とわたしたち、わたしたちと今苦しみの只中にある方々が、主にあつてつながつている兄弟姉妹であることを改めて確認し、また確信しました。わたしたちの祈りは、暗闇の内にある被災地の方々が復興の道を歩んでいく時、その道を照らす光となっていくだろうと。

(教区の皆様！この聖餐式は今後当分の間、毎月第3日曜日18時から聖アンデレ主教座聖堂にて行われます。日程は4月17日、5月15日、6月19日、7月17日です。皆様のご参加をよろしくお願ひします。)

教役者会幹事長 司祭 卓 志雄